

Voices



ヴォーリスだより



特集

ヴォーリス記念病院「出前講座」

巻頭言

「ヴォーリス医療・保健・福祉の里」
の夢と冒険

公益財団法人 近江兄弟社
理事長 三ツ浪 健一



Vol. **140**

2019年9月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「ヴォーリズ医療・保健・福祉の里」 の夢と冒険

公益財団法人 近江兄弟社
理事長 三ッ浪 健一



創立者ウィリアム・メレル・ヴォーリズに共鳴し、彼を助けて近江ミッションに生涯を捧げた吉田悦蔵氏の孫である吉田与志也氏が、この5月10日に「信仰と建築の冒険 ヴォーリズと共鳴者たちの軌跡」という本を出版されました。近江八幡市池田町にあるヴォーリズ建築である「吉田家住宅」で生まれ、そこに保管された資料を読み進んで、ヴォーリズの「失敗者の自叙伝」で語られなかったエピソードなど、貴重な記録が年代順に記載されています。これによるとメレルは1910年頃から社会問題に目を向けるようになり、「20年先をみよ」と言うようになったとのことで、20年先の計画として、幼稚園、伝道船、聖書学校、農園、病院などを描きました。そして1913年からは、近江ミッションが始めるべき事業の第一番目に結核療養所の実現が挙げられ、その年の11月には、シカゴ郊外に1904年に設立されたヒンスデール・サナトリウムを結核療養所のモデル病院として、悦蔵氏とともに訪れています。そこではデービッド・ポールソン医師が信念とする治療である「新鮮な空気、太陽光、適当な運動、清浄な水、健康的な食事、美しい風景、そして神が導く平穏な心」が実践され、当時最も進んだ施設でした。1914年には結核罹患者を療養させるための「養老館」を建て、1917年2月には、一般診療所であるアリス・J・カミングス記念診療所「明星館」が完成し、翌月から小児科・内科診療を開始して地元住民への貢献が図られ、翌年5月の結核療養所開院へと繋がりました。このように20年先の目標がわずか8年で達成された背景には、悦蔵氏を初めとする共鳴者たちの熱心な活動があり、それは様々なリスクを伴う活動で、確固とした信念に基づく勇気ある「冒険」であったとする吉田氏の考えに賛同するものです。

近江八幡市の75歳以上の人口は、2015年には9,591人でしたが、2040年には13,101人（2015年比+37%）、また、要介護数（認定者）は2,632人であったものが4,580人（2015年比+74%）になると推計されています。「安寧のまちづくり」とは、安心でおだやかな地域づくりを目ざすという意味であり、近江八幡市CCRC（Continuing Care Retirement Community）のプロジェクト名です。近江八幡市は、あらゆる世代が互いに交流し、それぞれの人生を楽しみながら、生涯暮らし続けられるまち、そんな「安寧のまち」の実現を目指しています。この近江八幡市安寧のまちづくり基本構想に沿い、高齢者がいつまでも活躍でき、多くの若者が集まるまちづくりに向け、ヴォーリズ医療・保健・福祉の里を新展開させて神の国に近づくよう夢を追うべき時機が来たように思われます。莫大な費用がかかるため、資金調達に最大限の努力を払い、法人構成者全員の最大限の努力のもと、十分なリスクヘッジを図った熱意ある冒険となるよう、皆の力を合わせたいものです。

チャプレンだより②

チャプレン 中村 信雄

今から18年前、ブラジルの小さな村に行きました。言葉の通じない国へ行き、言葉よりも大切なものがあることを確かめたかったからです。多くの村の人たちが会いに来てくれました。その最前線には子どもたちの姿がありました。ブルース・リーの真似をしたり、空手の真似をしたり。歓迎しているのではなく、アジアから来た言葉の分からない私をからかっていたのです。

次の日も、その次の日も、子どもたちは会いに来ました。その子どもたちにちょっとした変化がありました。ゆっくり話してくれたのです。早口だったから言葉が伝わらないのだと考えて。その小さな思いやりが嬉しかったのを覚えています。

日曜日、礼拝に参加していると急に寒気がしました。力が抜け立っていることができません。病に倒れたのです。それに気付いた子どもたちが大人を呼びに行き、教会の人が宿まで送ってくれました。「まずいことになった」と思いました。言葉が通じないからです。熱にうなされ横になっていると、窓の外に気配を感じました。あの子どもたちが見守ってくれたのです。心配そうな眼差して。

しばらくすると窓の外には誰もいなくなりました。「帰ったのかな」そう思っていると扉をたたく音が聞こえ、子どもたちが入ってきました。ある子どもは私の頬や頭に手を置き、ある子どもは私の手をずっと握ってくれました。小さな手のぬくもりに涙が溢れました。

子どもたちに教わったこと、それが愛だと私は思います。



部署紹介

診療支援室

医療情報管理課 診療支援室 係長 寄本 和美

－平日の朝。正面玄関の自動ドアが開き、受付窓口に患者様が来られる。

それぞれ不安や心配の表情を浮かべ、静かに待合室の席に座る患者様。－

そんな患者様の姿を確認するところから、私たち診療支援室・医療クラークの仕事は始まります。

『ただいまより、△診〇〇医師の診察を始めさせていただきます。』

診察の医師の横で、医師の指示、検査依頼、患者様への案内、次回診察予約、お薬の確認など、医師が診察に集中できるよう、事務負担軽減を担うのが医療クラークです。

患者様の不安を受け止め、医師とのコミュニケーションが円滑に行えるよう補助することも使命であると考えます。

医療情報管理課は、診療情報管理室1名、システム室1名、診療支援室7名（医局秘書1名、医療クラーク6名）の合計9名で構成されています。

診療支援室だけでなく医療情報管理課全体として、情報の共有、医師のスケジュール管理、他部署からの依頼対応を行っています。

また訪問診療へ医師と同行するなど、診療がスムーズにできるように努めています。

患者様の抱える不安や心配は計り知れないものです。患者様一人ひとりに寄り添い、少しでも不安や心配が軽減できるよう心がけて参ります。



特

集

ヴォーリス記念病院「出前講座」ご案内

当院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、当院医療スタッフが地域に出向いて、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などをご紹介します。地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。



- ・病気のこと、健康維持の方法など詳しく知りたい・・・
- ・医療や健康についての話を聞く機会がない・・・
- ・地域の人たちとの交流の場で何か無いかなあ・・・

ヴォーリス記念病院に「聞きたいこと・知りたいこと」を教えてください。私達スタッフが、みなさんの地域にお伺いします。



＜講座の内容＞

- **病気や治療**について
(生活習慣病、認知症など)
- **健康生活**について
(運動、食事、薬の知識など)
- **在宅医療**について
- **終末医療、ホスピス**について
・・・など

＊ ＊ご希望に合わせて
内容はご相談に応じます ＊ ＊



＜対象＞ 近江八幡市内の地域住民による団体・グループ、学校など
(※職場研修は実施しておりません。)

＜費用＞ **無料**です。

＜開催日時＞ 日、祝日を除く、9：00～17：00

＜申込み方法＞

企画渉外課まで、電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。

電話：0748-32-5211 (代表)

※詳細はホームページでもご覧になれます。

皆様の
ご意見

- ・骨盤底筋の筋肉づくりを勉強し、尿もれなど…。参考になりました。
- ・日常の生活には、あまり気をかけてなかったが、日々の食生活の大切さを気づかされた。
- ・認知症予防の運動など勉強がしたいです。
- ・介護、バリアフリー等、参考になりました。
- ・生きがいのある日々を持つことで健康寿命を伸ばしたい、と今一度、痛感しました。

- ・病気にならない為の予防の方法。本日のテーマは 関心のあるテーマで大変良かった。さすが専門家の説明でした。家でもやってみます。
- ・身近な体操を分かりやすく説明頂いて参考になりました。
- ・血圧について、大変具体的に詳しく教えて頂きました。
- ・実技を入れながら、あっという間の1時間でした。とてもわかりやすく、自分の体の現状がよくわかりました。
- ・終末期をどう迎えるか、その意思決定をどう行うか？色々と考えさせられた時間でした。ありがとうございました。

脳卒中(脳血管疾患)の予防

医師 深見 方博

1. 脳卒中とは

「脳の血管が詰まったり破れたりして起こる病気」です。

血管が詰まるタイプが「脳梗塞」で、さらに①ラクナ梗塞（直径15mm未満）②アテローム血栓性脳梗塞③心原性脳塞栓症の3つに分けられます。

血管が破れるタイプは「頭蓋内出血」で、①脳内出血②くも膜下出血の2つがあります。

※「脳卒中」では脳梗塞が全体の70%位で最も頻度が高くなっています。

2. 日本人の死亡原因の4位です。

※2018年度では1位が「悪性腫瘍」で2位は「心疾患」、3位は「老衰」です。

3. 65歳以上の「寝たきり」の原因では最も多くなっています。

4. 脳卒中の「危険因子」

- ①高血圧症：140/90mmHgが基準。
- ②糖尿病
- ③脂質異常症（高脂血症）
- ④心疾患（不整脈：特に心房細動）：心原性脳塞栓症の原因になる。
- ⑤生活習慣：肥満（運動不足）、喫煙、多量飲酒、過労・ストレスの蓄積など



5. 「一過性脳虚血発作」：前触れ発作

①手足の脱力、ふらつき、呂律障害、めまいなどが短時間（15分位が多い）起こるが、24時間以内には完全に回復するため様子を見てしまうことが多い。

②重篤な脳卒中の前触れであることが多いため、できるだけ早く病院を受診することが重要です。

6. 脳卒中予防十か条（日本脳卒中協会）

- ①手始めに高血圧から治療する。
- ②糖尿病は放置すると悔いが残る。 ※糖尿病は自覚症状なく進行します。
- ③不整脈は見つかれば次第すぐに受診して精査を受けることが重要です。
- ④予防のためにはタバコを止める意思を持つ。
- ⑤アルコールは控えめは薬だが過ぎれば毒になる。
- ⑥高すぎるコレステロール（特にLDL）も見逃さない。
- ⑦食事の塩分や脂肪、カロリーは控えめに。
- ⑧体力に合った運動を継続することが重要。
- ⑨太りすぎは万病の原因になる。
- ⑩脳卒中は起きたら大至急病院を受診する。



在宅療養支援の取り組み

ヴォーリス記念病院では、「地域医療の予防から終末期まで住民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する事業」を公益目的事業としております。

在宅療養支援病院として、**医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、理学・作業療法士、管理栄養士**などが**チーム一丸**となって、患者さん、ご家族が安心して在宅での療養生活を送ることができるように支援を行っています。いつでもご相談ください。



訪問リハビリ



訪問診療



看護師による
退院後訪問

地域の方々すべてが、住み慣れた地域や自宅でいつまでも、自分らしく生きがいを持って生き続けることができることを目指して…

病院内の行事

介護予防教室



毎月1回開催のミュージックタイム



ホスピスにて音楽会



3病棟七夕 & お誕生日会



ボランティアさんによるティーサービス



「友愛の家ヴォーリス」にておはぎ作り



管理栄養士ようちゃん
おススメ!

あなたは大丈夫ですか？夏の2大不調

—夏の不調を癒すスパイス—

食欲不振

空調の効き過ぎた室内と室外の大きな温度差は、自律神経の乱れを招く原因の一つになります。また、夏の暑さによる疲労も伴って、夏場は胃腸の不調や食欲不振を招きやすいです。

体の冷え

自律神経の乱れは、体の冷えにもつながります。夏は冷えとは無縁に思いがちですが、効き過ぎた冷房と冷たい食べ物に偏りがちで体の冷えを起こしやすいです。

夏の不調にお悩みの方におすすめのスパイス

クミン



カレーの香りの源。
胃腸に溜まったガスを分解し、お腹の張りなどを和らげ、食欲増進、消化促進に効果があります。

レッドペッパー



辛味と爽やかな香りが特徴的。
食欲増進効果の他、代謝を促進する効果もあり、冷え性の方にオススメのスパイス。

身近なスパイスといえば…カレー粉！！カレールウ！！

カレー粉やカレールーには、上で紹介したクミンやレッドペッパーを始め、20～30種類ものスパイスが使われています。

食欲不振や肝機能の低下を防いだり、自律神経の働きを高めたり夏の不調を挽回するのにピッタリです。

カレーにして野菜や肉もたっぷり入れれば、一皿で糖質・蛋白質・ビタミン・ミネラルもしっかり摂れます。

夏の不調を持ち越さないように、カレーで栄養補給してみてもいいでしょうか？





◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月の木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法に関する教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 10月24日(木) 12:00~13:30

場所 新館研修室(病院内)

講師 理学療法士

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

◆ 2019年度 ヴォーリス介護予防教室のご案内

テーマ:「明日は我が身...認知症発症のリスクと予防」(年間5回)



回数	月日	担当	内容(仮)	講師予定
3	9/26(木)	ヴォーリス記念病院	「認知症のメカニズム(仮)」	ヴォーリス記念病院 医師 深見 方博
4	11/21(木)	ヴォーリス老健センター	「家族が認知症になったら(仮)」	ヴォーリス老健センター 3階看護師長 前田 小百合
5	2/20(木)	ヴォーリス記念病院	「あたまが元気になる体操(仮)」	メディカルフィットネスセンター-ヴォーリス 所長 久保 大志

- 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報をホームページでご確認ください。 -

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員:30名
- ②場所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③開催時間 14:00 ~ 16:00
- ④参加費 無料
- ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
〒523-0806 近江八幡市北之庄町492 ヴォーリス記念病院内
介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)

【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリス
担当 中上 (TEL:0748-32-7130 / FAX:0748-36-5458) まで



◆ メディカル・フィットネスセンター-ヴォーリス 会員募集中!

あなたの健康づくりをサポート

元気な方は体力づくり、病後の方は体力回復に沢山の方がご利用されています。



※2019年10月より下記料金になります。

<営業日と時間>

	月	火	水	木	金
9:30 ~12:00	○ 11:30まで	市委託	○ 12:00まで	○ 11:30まで	市委託
13:30 ~17:00	○	○	○	○	○
17:00 ~20:00	---	○	---	---	○

市委託 = 市から受けている委託事業

○ = 会員制による実費サービス

<休館日>
土・日・祝・年末年始など
または当センターが特別に定めた日

<利用料金>

- * 入会金 4,500円
- * 月会費
- 週3回以上 9,030円
- 週2回 5,900円
- 週1回 3,500円

〒523-0806 近江八幡市北ノ庄町492 ヴォーリス老健センター1階 / 電話 0748-32-5540 ・ FAX 0748-32-5541

病院外来のご案内

外来診察担当医表（9月1日現在）

担当医師が変更となっている場合もございますので、お問合せ下さい。（★予約なし）

■ 受付開始：午前8時30分 診察開始：午前9時

	月	火	水	木	金	土
一診	総合診療科 循環器科 三ッ浪 健一	総合診療科 脳神経外科 深見 方博	総合診療科 循環器科 三ッ浪 健一	循環器科・内科 馬淵 博	総合診療科 循環器科 三ッ浪 健一	<第1・2・4週> 呼吸器科 呼吸器外科 睡眠時無呼吸 北野 晴久
三診	糖尿病・内科 岡本 拓也	内科・神経内科 穂山 勝久	糖尿病・腎臓病 西教 美千子	呼吸器科 呼吸器外科 ★長崎 二三夫	糖尿病・腎臓病 西教 美千子	糖尿病・腎臓病 西教 美千子
四診		総合診療科 消化器科 五月女 隆男	消化器科・内科 荒木 克夫	外科 前平 博充		総合診療科 消化器科 五月女 隆男
五診	呼吸器科 呼吸器外科 長崎 二三夫	呼吸器科 呼吸器内科 上榎 潔		整形外科 ★仮元 幹雄	呼吸器科 呼吸器外科 北野 晴久	<第1・3・5週> 消化器科・内科 荒木 克夫 <第4週> 整形外科 ★佐藤 史英
緩和		奥野 貴史		奥野 貴史		
午後診療		乳腺外来 13:30 ～15:00 瀧 俊彦	もの忘れ外来 12:30 ～14:45 西教 美千子	乳腺外来 13:30 ～15:00 瀧 俊彦		

地域療養支援部「医療相談課」

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側でございます。

T E L (0748) 32-5211 (代) / F A X (0748) 36-5412 (直)

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課2番窓口にお越し頂くか、お電話（0748-36-5467）下さい。

※ お問い合わせ時間：13:00～17:00

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211（代表）

FAX：0748-32-2152（代表）

HP：www.vories.or.jp/

<アクセス>

- ・名神高速道路竜王ICより約30分
- ・JR琵琶湖線近江八幡駅下車
北口駅前より車で約10分近江バスで長命寺行き
- ・シャトル（無料送迎）バス

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリズ記念病院